

定例教育委員会会議録

平成26年11月27日

境港市教育委員会（平成26年11月27日委員会会議録）

招集年月日 平成26年11月27日 15時30分

招集場所 市役所第一会議室

開 会 15時30分 委員長宣言

出席委員 ① 佐々木 邦広 ② 谷田 真基
③ 足立 ひと美 ⑤ 永井 美央
⑥ 赤石 有平

委員長から説明のため出席を求められた者

教育委員会事務局長 門 脇 俊 史
学校教育課長 山 本 淳 一
学校教育課補佐 松 原 隆
学校教育課補佐 遠 藤 彰
生涯学習課長 沼 倉 加奈子
教育総務課係長 古 徳 健 雄

傍聴者数 なし

会議書記 教育総務課係長 古 徳 健 雄

提出議案 なし

協議事項 学校給食用牛乳の採択について

報告事項 11月の行事報告、12月の行事予定など

足立委員長 定刻になりましたので、ただいまから11月の定例教育委員会を始めます。中学校の文化祭、小学校の学習発表会、先週の青少年意見発表会では感動をもらいました。境港文化のつどいや出前講座など様々な取り組みもございました。協議事項のところ感想を出していただければと思います。さらに本日は、11日にありました社会教育委員会の報告をしていただくようにしています。それでは協議事項に入ります。学校給食用牛乳の採択について、説明をお願いします。

※学校給食用牛乳の採択について学校教育課長より説明

※普通牛乳とパステライズ牛乳の試飲

永井委員 鳥取県の特殊性を鑑みて、透明性のあるところで大山乳業にしても良いということでしたが、もし市町村がパステライズ牛乳を選択せずに、今までの超高温瞬間殺菌法の牛乳を選択した場合は入札ということになるのでしょうか。

教委事務局長 従来どおり入札をするということになります。今のところ南部町、日野町の2町は普通牛乳でやるということで、入札は県の畜産課で行いますので、市町村は一切入りません。

赤石委員 通常は2社以上が競合しないといけないが、大山乳業1社でもいいと。

谷田委員 1社でも補助金がいただけるということでしょうか。

学校教育課長 普通牛乳については、入札によって価格を下げるという方法ですので、200ccの牛乳が40数円で飲めているという状況です。競合入札によって価格を下げて保護者負担を軽減するという大原則が今でもありますから、そして小さな酪農家を支えていくための一つの方法として、安定した消費を確保できるようになっており、両者の利害が合

致したところで入札が行われているということになります。県の畜産課、体育保健課が一緒になり、競合入札をすることで消費を確保するから、価格を下げしてほしいと申し出ておりました。

永井委員 町が普通牛乳を入札して価格が決まりますと、パステライズ牛乳は、それに4円を上乗せするというのでしょうか。

学校教育課長 パステライズ牛乳の価格がございます。どのような金額が設定されるのか、場合によっては逆転現象が起きるということも無きにしも非ずというのが県畜産課の回答です。

永井委員 パステライズ牛乳のプラス4円というのは、何が基準になるのでしょうか。

学校教育課長 国の支払う補助金がプラス4円、つまりパステライズ牛乳の価格からマイナス4円になります。

永井委員 パステライズ牛乳の価格がいくらであっても、国は4円の補助金を出すということですね。

赤石委員 鳥取県の酪農家が全て大山乳業に入れているということを見ると、他社を入れた入札を行えば価格は下がるかもしれないけど、地元の牛乳を使えなくなるという可能性があるということ、鳥取県の場合は1社でも良いですよということになっている訳ですね。

学校教育課長 従来 of 価格設定を踏まえて、1社とのみ契約をすることが可能になり、それを制限するものではないという言い方を国はしています。

佐々木教育長 極端に高くなることはないと思います。

足立委員長 4円の国の補助が続くという保証はないとしても、パスタライズ牛乳を選択するということもありえるのでしょうか。

学校教育課長 西部の町村のなかでも酪農家を抱えているようなところは、やはりパスタライズ牛乳を取っておられます。大山乳業があります琴浦町とか大山町などは、保護者に酪農家も沢山おられますので単独契約を行うと言っておられます。

佐々木教育長 パスタライズ牛乳のプラントにかなり投資をされておられます。

学校教育課長 大手の苦手な牛乳がパスタライズ牛乳とも言えます。つまり消費期限が短く5～7日、普通牛乳は2週間程度となっております。

赤石委員 牛乳は毎日納入されますよね。1週間分をまとめて納入する訳ではなく、消費期限が1週間だろうと関係ないように思います。

学校教育課長 境港市は毎日配送していただいているのですが、実は日野郡とかは2日に1度の配送で、3連休等になりますと約5日、間が開きます。パスタライズ牛乳の導入は見送らざるを得ないというご意見もございました。

佐々木教育長 本市で考えられるとすれば、金曜日に台風が来て学校を休校にしなければならなくなり、給食を止めるという判断をしたとします。他の食材はキャンセルできたとしても牛乳が納入され、廃棄することはできないので、冷蔵庫に入れ、月曜日には子供達に配られる。こういうケースでも消費期限を超えることはございません。

永井委員 休み明けの牛乳は納品を止めることはできるということですね。金曜日のものを月曜日に配るので1食分はキャン

セルするということですね。

佐々木教育長

急に給食を止めるという判断をしなければならないこと
がありますが、牛乳は納入されてしまいます。

足立委員長

この場の協議は、牛乳について理解するという
ことでしょうか。

学校教育課長

ウエイトを大きくして参考にさせていただこう
と思っております。そして現場の声、給食調理員
や給食主任達の声も合わせまして、合計した
ものの中から総合的な判断で来年度以降の牛
乳を決定していきたいと思っております。実
は、県の方で入札をするのか、パステライズ
牛乳を導入するのかということについて、県
体育保健課から25日までに報告してほしい
という依頼がありましたが、教育委員会
で試飲をし、委員の方々にもご意見を伺い
理解をいただいた上で報告をするというこ
とで、県の方には待ってもらっています。

足立委員長

では、試飲したことも踏まえて、或いは日頃
考えておられる思いも含めて、意見を出して
いただきたいと思います。

私は長年普通牛乳を飲んでいたので、パ
ステライズ牛乳と比べてみると、パステ
ライズ牛乳のほうがあっさりしていて飲
みやすいという感じを受けました。牛乳
が苦手な子もいるので、パステライズ牛
乳のほうが飲めるのかなという気もし
ました。カルシウムは各家庭で摂るの
だけども、意識の高い家庭ばかりでは
ないので、学校で1本は飲ませたい
という思いがあります。この頃は家
庭からお茶を持ってくる学校がほと
んどだと思いますが、カルシウム
補給で牛乳は飲みやすいので、給
食と一緒になくても、子供達が外
でしっかり遊んだ時に飲ませてあ
げてもいいなと思います。冷房が
ありますので、汗だくになっても
校舎内は涼しく快適に生活が
できるのですが、給食はいつも
汁気のあるものばかりでは
ないので、牛乳があつて良
かったなと思うときもあり
ましたので、牛乳と給食は
合わない

という発想は置いてもいいのではないかとも思っています。

永井委員

私自身の試飲をした感想は、同じようにパステライズ牛乳は匂いがあまりしなかったということと、あっさりした口当たりだったなど感じました。給食として牛乳が苦手な子からすると飲みやすいのかなという感じは受けました。ただ入札が1社のみになるということと、国の補助というのも今現在は行われているけれども、いつどうなるかわからない可能性もあるので、保護者への負担を考えたりすると、普通牛乳でも良いのではという気もしました。ただ個人的には日本の食文化を考えたときに、米飯、或いは食事というものの中で牛乳を付ける必要性があるのか、そういう習慣が果たして良いのか。お茶と食事でも、カルシウムの不足分はメニューの中で補っていく方法を取ることでもあります。新潟県三条市や京都市の選択もありなのかなという思いはあります。

谷田委員

私は前回のときと同じ意見なのですが、試飲させていただいた限りではパステライズ牛乳のほうが飲みやすい。コクもないし匂いも薄いので、苦手な子にとってはあっさりしたパステライズ牛乳のほうが飲みやすいのかなと思います。あと補助金の問題があります。補助金が打ち切られたときに保護者への負担等が発生するというリスクがある以上は慎重に判断しないといけないと思います。決して反対意見という訳ではありませんが、必ずしも牛乳ありきではなくても、そこは柔軟に対応していけば良いということです。あとは、パステライズ牛乳は滅菌ではなく滅菌ということですが、これはヨーロッパで昔から牛乳を飲む地域で取られている手法ですが、日本人の子供達が滅菌の牛乳を飲んだときに、体調に問題はないと思いますが、日本人の身体への影響は気になります。

赤石委員

パステライズ牛乳はおいしいと感じました。入札については、1社ではありますが、地元が協力して立ち上げた

協同組合でありますし、安定した生産者になるためには応援していただきたい。一般の入札になると負けてしまうこともありますので、地元の企業を使っていただきたいという思いはあります。私達の場合は、脱脂粉乳でご飯に合うとか考えたこともなかったのですが、今を思えばあれで良かったという気もしていますので、牛乳があってもいいのではという気はしています。

佐々木教育長

私は議会でもお答えしたとおり、地産地消であればどちらでも構わないと思っております。ただ今年使っている牛乳に関して色々な評判を聞きますと、以前のものよりあっさりしている、薄く感じるというご意見を耳にします。だとしたら以前のものに戻すのがいいのかなと感じています。ちなみに南部町では子供に飲ませてみたところ、以前の味を覚えていて、以前の普通牛乳の方がいいという答えが多かったと聞いております。以前のは、これが牛乳の味、匂いということで牛乳嫌いの子もおりますが、どちらでも価格がきちんとしていて、しかも安定して供給がされる、地産地消であるということが大切だと思います。

足立委員長

苦手な子は無理に全部飲まなくても、頑張っただけで半分でもいいというような学校でも工夫しておられると思いますので。どちらでもいいですが、補助が保証されないのは難点ですね。

永井委員

全国的に4円の補助をしているということは、すごい金額ですね。

足立委員長

それでは、文化祭や学習発表会のところで感想がありましたらお願いします。

私は第二中学校の3年生の劇を観させていただきましたが、以前から中学生はうまいと思っていましたが、期待以上の素晴らしい出来でした。生徒の演技もですが、学年全体の支えもあったと思います。脚本もしっかりしていて生きるということがテーマで、保護者の方も涙ぐんでおら

れて、非常に感動を呼びました。それから境小学校の学習発表会で6年生の詩に触れることができました。郷土愛にあふれた詩に出会いまして、感激しました。3年間の総合学習の成果だなど非常にうれしく思いました。青少年の意見発表会では、ワクワク境港の職場体験で、ごみ収集車での体験を発表した生徒がおりまして、あまりの悪臭に挫けそうになりながらも、市職員の「誰かがしないと市民が困るからな」という使命感に満ちた言葉をしっかり受け止めて成長する姿に、聞いていて非常に感動しました。まさにワクワク境港の主旨が実を結んだ、うれしい話でした。

佐々木教育長

今のワクワク境港の話ですが、学校の現場の方からは、何年か前から3日程度で良いじゃないか、教育課程で授業も増えてきたし、5日は長すぎるのではないかとということが議論されるようになってきました。兵庫県が一番最初に導入した事業なのですが、中学生による児童殺傷事件が起こった経過もあり、3日では辛さが残る。ところが4、5日やっているうちに、その働いている人たちと色々な話をする中で、こういう生きがいを持っておられるのだとか、これは大切な仕事なのだということに気づくのは、やはり4、5日は必要だということで、5日間になった経緯があります。やはりこの子も、もし1日だけの体験だったとしたら、臭い、えらかっただけが残っているということになります。

赤石委員

うちの会社にも職場体験に来られるのですが、気持ちを通わせる時間というのは3、4日経つにしたがって、話ができるようになるということはありません。1日、2日ではできませんので、やはり5日ぐらいあったほうがいいのかと思いました。

私も、第三中学校の30周年記念式典に行かせていただきまして、感動的な場面もあり、いい式典でした。それから境小学校と上道小学校の公開日に授業を観させていただいたのですが、授業とは別にこのような機会があることが先生の負担になり、忙しいと聞いていたので、準備等対

外的な部分に割かれている時間が多いのだろうなと感じました。子供を教えることに加えて、報告書の作成や保護者へのアピール等色々なことがあるから先生は忙しいのではないかと感じました。なかには落ち着きのない児童もいまして、どのように普段から指導しているのかと考えると大変だなと感じたところです。

足立委員長 社会教育委員会のことについて、簡単に報告いただけますでしょうか。

※社会教育委員会について生涯学習課長より報告

足立委員長 非常に沢山の意見が出ていましたが、しっかりと進行していただきました。委員の方でご質問等ありますでしょうか。

永井委員 以前、社会教育委員会のほうから、教育委員も出席していただけないかということがあったかと思います。そもそも教育委員が社会教育委員会に出席しないのはおかしいという話から、教育委員会で議題にあがり委員長が出席する形になったという経緯があります。特に社会教育は大事な分野で、子供が生まれて成長していく中で、学校教育や家庭教育だけでなく、あらゆる分野での関わりに及ぶと思います。対象も親と子、地域と幅広く、深く向き合う必要があると、先程の報告を聞いて再認識したところです。

教育委員会だけではどうすることもできなくて、横のつながりを持って、他の方々とやっていく必要があると思います。

足立委員長 家庭教育を支援する、子育て支援課との連携もありますし、速効性がある活動はなく、息の長い活動になると思います。実際に社会教育委員さんに関わっていただいで進めていくような取り組みにも期待したいと思います。

私も自死予防の講演会の話も大事だと思ったのですが、図書館のあり方というところで、組織も含めて魅力的で何

回も行きたくなるような図書館ということ。公民館のあり方では、若い人の活用ができるようにというような、大きなテーマを投げかけられたので、教育委員会と社会教育委員会と一緒に活動できれば良いのではないかと思いました。テーマを持って、一つ一つが活動に繋がるよう今後の課題として頑張ってください。

赤石委員

色々な場面がありますが、社会性のない親が増えているような気がしますし、どのように教育していけば良いのかと感ずるときがあります。

もう一つ、いじめの問題で気になったことがあります。滋賀で、いじめを受けた子供が校舎から飛び下りたというニュースがありました。学校が発表した報告書には、全校生徒の意識の中でアンケートが形骸化していたということがありましたが、むしろ先生方にアンケートの表面だけを見ているような、形骸化している部分があったのではないかという気がしました。もちろん非常に難しい部分ではあると思います。

足立委員長

では、報告事項をお願いします。

学校教育課長、生涯学習課長 各報告

足立委員長

出前講座ですが、小学校公開日と同じ時間帯だったので、これは講師の先生の都合でしょうか。

生涯学習課長

そのとおりです。調整させていただいた中で、この日ということでした。

佐々木教育長

小中学校のPTA連合会と市長が語る会というものがございました。春には総会がありまして、教育委員会事務局は呼ばれるのですが、これまで教育委員の皆さまへの招待はなかったかと思います。やはり2回あるどちらかに教育委員を招待してはどうかということをお伝えさせていただきましたので、来年春か秋のどちらかに教育委員の皆さま

に出させていただいてPTAの方々と話しをする。なかなか厳しい要求も出てきたのですが、小学校からは携帯電話の問題について、市から方針を打ち出していただけないかということでしたが、それは違うのではないかとお答えをしました。まずは親やPTAが考え、それから子供や学校と一緒に実効性のあるものにし、今後は我々も情報提供をしながら対応していきたいと考えております。

永井委員

中学校の方は、先月資料をいただいたので分かりますが、小学校からはどのような要望があったのでしょうか。

学校教育課長

芝生や携帯電話、施設設備ではトイレが臭いので何とかしてほしいということがありました。施設設備につきましては、すぐに現地確認に行っております。具体策としては点検をし、子供達の教育活動に支障がないように行いますという回答はさせていただいております。

佐々木教育長

今年は細かな要望がありましたが、その一つ一つにお答えをしたところです。

学校教育課補佐

あとは、通学路の安全確保ということが出ておりました。

赤石委員

施設の問題ですが、トイレの洋式化ということはいかがでしょうか。

学校教育課長

学校のトイレには、洋式便器がない所がございましたので、本年度一部洋式化を図る予定でおります。

佐々木教育長

全ての階に、男女便所には1つずつ洋式便器があるという状態にする予定です。まだできていない所もありますが、予算もついておりますので、急いで改修したいと思います。

足立委員長

以上で予定していた議題は終了しましたので、本日の定例委員会は閉会といたします。ごくろうさまでした。